

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・地域に住む者として地域活性化に一役かきたいと、地元の農作物を買いに週1~2回、農協に出掛ける人がいる。その主旨を大事にし、スタッフは同行している。散歩中に出会う近所の方々といさつをすることを大切にしている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎月のユニット会議で、前回申し合わせたことの経過と現在の状況を把握し、次の援助の内容を確認し合う。具体的な援助方法とともに、長期的な理念を忘れずに、根気よく取り組んでいる。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・運営推進委員会を通じユニットの状況や課題を伝えている。 ・2ヶ月に1度の広報紙は普段の様子を伝えるよい機会となっている。 ・ご家族様が来所された時には、活動の様子や食欲、体調の変化などについて話し、またご家庭におられた時の様子等を聞き援助計画の参考にする。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・あいさつを大切にしている ・農作物へのアドバイスをいただいたり、交流がある。 ・「夏まつり」「運動会」「ほたる鑑賞会」などその他地域行事には必ず時間や場所などの参加を促す声かけをして頂いている。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・小学校の運動会や夏祭りを見に行ったり、ガラシャ祭りは行列を楽しみにしている。園児さんとの交流、ポップバンドさんも楽しみ、地域の神社のお祭も楽しみにしている。 ・長崎県や広島県に市役所を通して千羽鶴を贈ることに使命感をもっている人もいます。	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(〇印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・社内の研修に関してはシフトをやりくりしながらも学ぶ機会の確保に努めている。</p> <p>・社外の研修、セミナーにも積極的な参加体制にし、学んだことはユニット会義等で共有し、ケアに生かせるように努めている。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・地域の研修会に参加し、交流や情報交換の機会を得、自身の糧として、自己研鑽のきっかけとしていく。</p> <p>・ユニット会議等で発表することで、復習となりより理解が進む。また地域の同業者が見学や実習・相談に来られることもある。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>・年2回の職員レクリエーションをスタッフは楽しみにしている。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>・研修会等への積極的な参加呼びかけがあり。そのための勤務調整も可能である。資格手当や取得のための体制もある。</p>	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・入居時の1週間後のカンファレンスと1ヶ月後のモニタリング評価をした上で、生活援助計画の見直しを必ずしている。そのためには、ご本人の揺らぎや不安に添い、今の心境をしっかり受け止めた上で、今後どのように過ごしたいか、気持ちと心を感じながら今何が必要なのかを一緒に考えていく。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>・事前面接では、本人の面接とは別にご家族の思いもしっかり受け止める機会を設け、ここで生活することに安心がもてるように、またどんな暮らし方を求めているのかを聞きながら、ご家族と相談しながらご本人を見守っていく。</p>	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>		
26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>		
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>		
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>・入院などで退去された方については、その方が不安にならないように馴染みの関係のある職員が見舞いに行き、安心できる気持ちになれるよう見守る。</p>	
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>			
<p>1. 一人ひとりの把握</p>			
33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・日頃の会話の中から、希望や意向をくみとる努力をしている。また散歩やフロアの活動によって、新たな興味や思い出すこともあり興味の幅が広がる活動を試みている</p> <p>・職員は、各自気づいたことをユニット会議等を出し合い、共通の理解をつなげている。</p>	
34	<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>・初期面接やモニタリング、アセスメントシートなどの記録をもとに利用者の全体像に近づく努力をしている。</p>	
35	<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>・朝のバイタルチェック、顔色などにより健康状態を把握し、入浴、散歩等のケアの目やすにする。</p> <p>・入室時間の長い方には訪室し、様子観察する。</p>	
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>			
36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・ユニット会議で、現状と課題を出し合い、具体的な援助方法と長期目標を確認する。その際、ご家族からの希望や意見を大切に、また医療面ではかかりつけ医の意見を参考にしていく。</p>	
37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・3ヶ月の援助内容をたてているが、変化のある時はご家族やかかりつけ医、職員間で相談して1ヶ月の計画に変更をして、状況にあう援助計画を考えている。</p>	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> <p>・援助計画をもとにその日、計画にそった援助ができたかの確認と、新たに気づいたことや喜怒哀楽を記録し、次の計画や実践に活かしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> <p>・ご家族より利用者の靴の依頼があった時に、併設の訪問事業所のケアマネさんのはからいで福祉用具の業者へ連絡してもらうなど、情報交換がある。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> <p>・絵の会、書道の会、ポップバンドさんの訪問を楽しみにしている。 ・交流会での琴の演奏やふく話術、南京玉すだれ等、ボランティアさんによる協力がある。</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> <p>・入居されて間もない入居者で認定更新の際に、本人やご家族の希望により、行政担当課と相談の上、今まで馴染みあるケアマネジャーに調査依頼をすることもあった。そのケアマネジャーの配慮により、民生委員さんをお願いして独居の会に参加できるようになった。</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> <p>・運営推進会議のメンバーにも地域包括支援センターが参加し、また、地域包括ケア会議など地域会議にも出席しているので、常に入居者の権利擁護などに関することが発生すれば相談している。</p>		
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> <p>・2週間に1度の訪問診療があり、また発熱など、変化が見られた時には、随時連絡がとれる状況であり、夜間にも対応があり、安心して暮らしてもらっている。家族対応で受診されている方もあり、「療養手帳」の活用によって、状況の共有ができています。</p>		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>・契約時のご本人やご家族の意志を再度確認し、いろんな状況を考えながら、何度もくりかえし話し合い、全員で方針の共有していきたいと思う。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>・ご本人やご家族の意志を尊重しながら、大事な場面に立ち合う者として、職員は、具体的にどのような援助ができるかを、話し合い、ターミナルを受け入れる心の準備が全員に必要である。そのための研修を積み重ねていきたい。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・お一人お一人の誇りやプライバシーを傷つけないように配慮して言葉かけや対応している。記録等個人情報のものは整理を心がけ、施錠して管理している。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・ゆっくりはつきり話しかけるよう配慮をしている。何がしたいのかをご本人が表現しやすいように選択できるものを見てもらって選んでもらったりしている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・その人の生活ペースを大切にし、食事の時間やまた居室での食事にも応じている。外食に関しても体調や天候、生活時間などを考慮しながら、希望を聞き添えるよう努力している</p>	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・ボランティアの美容師さんにご本人の希望を伝えている。 ・外出の際には、その場にふさわしい服装をご本人と選び、着ていただいている。</p>	
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・ごはんの固さを利用者好みにし、野菜切りや食器洗いなど、食事を通して会話をするなど食事が楽しみになる工夫をしている。</p>	
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・おやつは季節の野菜、果物をとり入れたり、それを材料にケーキ、ジュース等にしたりしている。楽しい時間であり、好みを大切にししながら、体調のコントロールにも配慮し工夫している</p>	

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄の場所や行為にとまどいがみえる方には、排泄チェック表にて時間をかきこみ、タイミングをみて誘導している。失禁への非難(他者から)のため気分が沈む対応としてリハビリパンツ、パットの使用を試みているが、排泄への介助にとらわれることなく、できることやしたいことを大事にしている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・体調や生活ペースを考慮しながら、ご本人の希望を大切にしている。 ・清潔にすごしてもらえるよう声かけは随時行っている。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・入眠までに時間がかかる人にはホットミルクを飲むなど、職員がそばにいてゆっくりした時間をもち、気持ちをリラックスしてもらう。 ・添い寝の必要な人には寝付くまで対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・散歩、ドライブ、かるた、絵をかく、書道、合唱などのく機会の提供する。またご本人が一人で、楽しめる読書なども大切にしている。 ・朝、そうじ機を居室や廊下をかける方もいて役割となっている。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・買い物を楽しみにしておられる方には、職員が時間の工夫をしたりしながら、希望に添っている。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・散歩やドライブの機会をもっていて、よい気分転換になっている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ご家族との外出をご本人と一緒に喜んでいる。 ・帰所後、外出先での様子を聞いたり、楽しかった思いを共有している。		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・外線のとりつぎをし、ご本人の希望があれば、電話をかける手伝いもしている。 ・手紙をかかれる方には、郵便局へつきそっている。 		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族等、友人等、来られた時には、居室でくつろいでもらい、お茶を出している。また、リビングで一緒に歌を歌われたり、TVを見られたりもしている。 ・ご家族の宿泊やらい居時には居室で一緒に昼食をとられる方もある。 		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や言葉による拘束はない。 		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が鍵をかけることで安心を得られる場合には鍵をかけているが、基本的には鍵はかけていない。 		
67 ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・業務分担の中でフロアーには見守りの職員が必ずいることとし、利用者の所在や様子を見守っている。入室されている方には、訪室をしたり、体調の変化等に配慮している。 		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁やはさみ類のとり扱いは、職員の見守りのもとに行う。 ・お茶と洗剤などを近くに置かないなど、危険を防ぐ工夫をしている。 		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒の危険のある方には、見守りのできる距離にいて、立ち上がられた際には歩行介助をする。 ・薬は職員が管理し手からこぼれ落ちないか等、見守っている。 ・ヒヤリハットを書くことにより、事故の分析をし、職員全体へ伝え防止につなげる 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフルームにはあってある緊急マニュアルを職員は確認している。 ・救急救命の講習を受けている。 		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者も参加し、年2回の避難訓練をしている。 ・日常的には避難経路の確保に努めている。 		
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の軽い入居者にとって、重度の認知症を抱える入居者が自分の居室に入られることへのストレスが大きく、ご家族と相談の上、自分の居室の鍵をかけるようになる。自由にエレベーターは入居者ひとりでも使用でき、ただ、玄関から先は交通量の激しい道路であるため、ひとりで徘徊にならないように見守りを徹底している。 		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のバイタルチェックや食欲、顔色、行動に注意をし、変化や異変に気づいて時には、再度バイタルをしたり、スタッフとの情報を共有して、より詳しい情報を得る。緊急時にはかかりつけ医に連絡をし、指示をあおぐ。 		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬管理ファイルに薬の種類、目的、用法等をはさみ、管理し理解に努めている。 ・誤飲や飲み残し、また手からこぼれない様、服用を見守っている。 		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつを一つの機会とし、バナナ、さつまいも、牛乳、果物などを使ってケーキやジュース等になっている。 ・水分補給を促し、適度な歩行を促すなど、自然排便ができる援助をしている。またかかりつけ医に相談をして緩下剤の処方を受けたりもしている。 		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、口腔ケアの声かけをし、介助の必要な方には職員がつきそう。 ・口腔ケア後は気もちもさっぱりしている。 		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>			
<p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

長岡京ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご本人が今まで使われていたものを持ち込み居室におかれている。 ・本、ぬいぐるみ、人形、TV、椅子なども自由におかれ、写真など大切にされている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・温度調節や空気の入替えをこまめに行い乾燥を防ぐため、加湿器もおいている。 ・排泄後の臭いには空気の入替えをし、消臭剤をまいている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室の出入りには手すりが設置され、廊下にも手すりがあり歩行の助けとなっている。 ・浴室の入口に段差があり、狭さとともに車いすでの介助に工夫が必要となっている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・トイレ居室、浴室にはプレートにより分かりやすくしている。 ・職員がよりそい移動して混乱をさけている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・裏の畑でできたさつまいも、きゅうり等の収穫を利用者と一緒楽しむ ・空地を利用し、ハーブ類を植え、お茶にして楽しんでいる利用者がある。 ・ベランダをもの干として活用し、ご本人が洗たくし、干しに行ったり、とり入れたり、生活感をもっておられる		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

長岡ケアハートガーデングループホーム西山の郷(もみじ)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

安心して生活できる場であると、利用者に思ってもらえるよう、体調の変化に早く気がつき、喜怒哀楽によりそい、自分自身を大切に思ってもらえるような援助をしていきたいと思っています。